



『百花繚乱！常盤っ子！！』

校長 海 頭 巖

黄金色に色づきはじめた稲穂の波打ち際に咲く赤と白の彼岸花。実りの秋もすぐそこに……。季節の移ろいは速いものです。

9月21日（日）に常盤小学校秋季大運動会が行われました。当日、運動場では、彼岸花に負けじと赤と白の帽子の花が鮮やかに咲き乱れました。赤組と白組は激戦の末、僅差で白組が勝利を収め、昨年の雪辱を果たしました。

運動会の開会式で、次の内容を話しました。

「（略）この運動会は、児童会のスローガン『最後まで 走ってわたせ 絆のバトン』をめざして、かわいらしさとたくましさがあふれる運動会であってほしいと思います。そのためには、元気で一生懸命に取り組むことが大切です。徒競走で転んでもかまいません。演技で失敗してもかまいません。一生懸命に取り組んでいれば、たとえ転んでも、失敗しても、決して格好悪くありません。気を抜いたり、恥ずかしがったり、だらだらしていると、格好悪く映ってしまいます。本校の校訓にある『美しく、たくましく』につながる運動会をめざして、絆のバトンをみんなで渡しあってください。」と……。略。

校長として初めての運動会。心中は如何に？『とにかく大きなケガをしなければいいが、しないように……。』という強い願いを抱き、緊張感の漂う中での観戦。と思いきや、開会式での1年生4名によるかわいらしい児童代表あいさつに思わず口元がほころび、5・6年生の騎馬戦では手に汗握る激闘に興奮し、長いフレーズを完璧に暗記し、堂々と話す閉会式での児童代表あいさつに感心するなど、『ケガをしないように』の私の心配ごとをかき消すほどの、感動を与える競技と演技の連続で、枚挙にいとまがありません。

保護者や家族の皆さんは、この運動会で子どもたちの『確かな成長』をご覧になられたことと思います。私は、去年の運動会での子どもたちの姿を知りません。しかし、今年の運動会で、子どもたち一人ひとりが自分らしい花をしっかりと咲かせ、その花々が一団となって咲きほこり、『かわいらしくもあり、たくましくもある姿』を皆さんと共に胸に刻み込むことができたと確信しています。まさしく、『百花繚乱！常盤っ子！！』です。

終わってみて、『大きなケガがなくて良かった。』と、ほっと胸をなで下ろした次第です……。